

**2022年3月期 中間決算について**

株式会社AIRDOは、本日11月26日(金)、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)中間決算をとりまとめました。詳細につきましては、別添の「2022年3月期 中間決算短信(非連結)」をご覧ください。

## 1. 2021年9月中間期(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績

## (1)概況及び経営成績

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により依然として厳しい状況にあるなか持ち直しの動きが続いています。航空業界においては、ビジネス・観光両面においてコロナ以前の旅客需要には至っていないものの、ワクチン接種の進捗もあり緩やかな回復傾向となっています。

このような状況のもと当社は、コスト削減の取り組みとして、減便・運航機材の小型化等による変動費の削減、人件費等の固定費の削減、経年化したB767型機の退役前倒し等に取り組んでまいりましたが、航空需要回復の見通しが依然不透明であることから、2021年7月に優先株式を発行し、安定的に事業を継続するための財務基盤強化を図りました。

加えて、新たな事業環境を生き抜き、お客様への一層の付加価値提供および持続的な成長を果たすため、当社と同じく地域に根差した航空会社である株式会社ソラシドエア(以下、ソラシドエア)と共同持株会社設立に関する「基本合意書」を締結し、2022年10月の会社設立を目指して取り組みを進めています。2021年7月からは、当社とソラシドエアとの協業の一環として、特設サイト「ふたつの翼で全国を旅しよう」を開設し、両社のポイント&マイル相互交換等の各種キャンペーンを開始しました。

これらの結果、当中間会計期間における営業収入は、コードシェアによる座席販売分を含め、11,591百万円(前年同期比48.4%増)となりました。

事業費は13,166百万円(前年同期比2.0%減)、販売費及び一般管理費は1,492百万円(前年同期比2.5%増)、営業費用は14,658百万円(前年同期比1.5%減)となり、この結果、営業損失は3,067百万円、経常損失は3,033百万円、中間純損失は1,978百万円となりました。

(△は損失又は減少)

【経営成績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
営業収入 (百万円)	7,813	11,591	3,778	48.4
営業費用 (百万円)	14,885	14,658	△226	△1.5
営業利益 (百万円)	△7,072	△3,067	4,004	—
営業利益率 (%)	—	—	—	—
経常利益 (百万円)	△7,164	△3,033	4,131	—
中間純利益 (百万円)	△6,765	△1,978	4,786	—

## (2)運航実績、輸送実績

【運航実績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
運航便数 (便)	6,852	8,848	1,996	29.1
就航率 (%)	99.6	99.4	△0.2Pt	—
定時運航率 (%)	98.6	97.5	△1.1Pt	—

【輸送実績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
提供座席数 (千席)	766	1,115	348	45.5
旅客数 (人)	222,009	443,780	221,771	99.9
旅客キ口 (千人キ口)	209,180	418,713	209,533	100.2
座席キ口 (千席キ口)	725,878	1,054,620	328,742	45.3

(注)輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

【路線別座席利用率】	前中間会計期間	当中間会計期間
「札幌－東京」線	28.3%	42.1%
「旭川－東京」線	35.4%	33.3%
「女満別－東京」線	29.2%	37.9%
「釧路－東京」線	31.8%	44.9%
「帯広－東京」線	27.7%	47.1%
「函館－東京」線	31.4%	39.7%
「札幌－仙台」線	33.5%	25.1%
「札幌－名古屋」線	27.6%	51.5%
「札幌－神戸」線	11.0%	28.2%
「函館－名古屋」線	17.3%	32.3%
路線の平均	28.8%	39.7%

(注)路線別座席利用率には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

### (3) 財政状態

【財政状態】	前事業年度 2021年3月31日	当中間会計期間 2021年9月30日	増減
総資産 (百万円)	41,739	47,309	5,569
純資産 (百万円)	2,205	7,533	5,327
1株当たり純資産 (円)	47,431.08	11,463.04	△35,968.04
自己資本比率 (%)	5.3	15.9	10.6Pt

## 2. 2022年3月期の見通し

わが国の経済は、ワクチン接種等の感染拡大防止策により社会経済活動の回復を図るとともに、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されています。

航空業界においては、旅客需要が徐々に回復の兆しを見せている一方で、人流の増加や新たな変異株による感染再拡大の懸念に加え、リモートワークをはじめとする働き方の変革やデジタル化の進展による新しい行動・生活様式の普及と定着の影響などもあり、需要動向は依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況下で当社は、厳しい経営環境に適切に対応すべく、本年度の経営方針である「コロナ禍という不安定な需要環境を乗り越え、将来の成長に備える一年」に則り、航空機の整備関連費用の低減や国内チャーター需要獲得による収支改善、旅客需要に応じた機動的な運航体制の構築など、徹底したコスト削減と増収策に取り組んでおります。

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は続くものの、当社は安全運航を最優先に、全社総力を挙げて機動的かつ柔軟な施策を効果的に講じることで、経営への影響を最小限にとどめつつ、ポストコロナ時代を見据えた構造改革(他社連携・共創、生産性向上、コスト削減、財務基盤強化、新たな社会への対応)を着実に進め、さらなる飛躍と発展を目指してスピード感を持って事業を進めてまいります。

なお、2022年3月期の業績見通しについては、現時点において合理的な算定が困難であるため未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表をいたします。

以上

(別添)

## 2022年3月期 中間決算短信 (非連結)

2021年11月26日

会社名 株式会社AIRDO  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 晋  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当 (氏名) 浦澤 英史 TEL (011) 252-5533  
半期報告書提出予定日 2021年12月23日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月中間期の業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月中間期	11,591	48.4	△3,067	—	△3,033	—	△1,978	—
2020年9月中間期	7,813	△69.2	△7,072	—	△7,164	—	△6,765	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月中間期	△42,550.96	—
2020年9月中間期	△145,487.31	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月中間期	47,309	7,533	15.9	11,463.04
2021年3月期	41,739	2,205	5.3	47,431.08

(参考) 自己資本 2021年9月中間期 7,533百万円 2021年3月期 2,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

### 3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の業績予想については、現時点において合理的に算定することが困難なことから未定とし、開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

#### ※注記事項

##### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月中間期	46,501株	2021年3月期	46,501株
② 期末自己株式数	2021年9月中間期	－株	2021年3月期	－株
③ 期中平均株式数	2021年9月中間期	46,501株	2021年3月期	46,501株

※ 中間決算短信は監査法人による中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 貸借対照表

(2021年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>21,111</b>	<b>流動負債</b>	<b>9,923</b>
現金及び預金	18,203	営業未払金	5,414
営業未収入金	482	1年内返済予定の長期借入金	700
たな卸資産	204	1年内返済予定の関係会社長期借入金	431
前払費用	258	リース債務	2,070
未収還付法人税等	0	未払金	589
その他	1,961	未払費用	225
<b>固定資産</b>	<b>26,197</b>	未払法人税等	8
<b>有形固定資産</b>	<b>16,369</b>	預り金	354
建物	285	その他	129
航空機	2,218	<b>固定負債</b>	<b>29,853</b>
工具器具備品	173	長期借入金	6,100
リース資産	13,612	関係会社長期借入金	5,118
建設仮勘定	25	リース債務	13,295
その他	53	退職給付引当金	962
<b>無形固定資産</b>	<b>321</b>	航空機材整備引当金	4,377
ソフトウェア	320	<b>負債合計</b>	<b>39,776</b>
その他	0	<b>純資産の部</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,507</b>	<b>株主資本</b>	<b>6,619</b>
投資有価証券	200	資本金	100
長期前払費用	6,208	資本剰余金	8,641
繰延税金資産	2,640	その他資本剰余金	8,641
その他	458	<b>利益剰余金</b>	<b>△2,122</b>
		その他利益剰余金	△2,122
		繰越利益剰余金	△2,122
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>914</b>
		繰延ヘッジ損益	914
		<b>純資産合計</b>	<b>7,533</b>
<b>資産合計</b>	<b>47,309</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>47,309</b>

# 損益計算書

(自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営業収入		11,591
事業費		13,166
営業総損失		△1,575
販売費及び一般管理費		1,492
営業損失		△3,067
営業外収益		
受取利息	1	
有価証券利息	0	
受取手数料	8	
受取助成金	214	
為替差益	24	
その他	40	287
営業外費用		
支払利息	208	
その他	45	253
経常損失		△3,033
税引前中間純損失		△3,033
法人税、住民税及び事業税	8	
法人税等調整額	△1,063	△1,054
中間純損失		△1,978